

2020 年度 JCN バーチャルツアー in 岩手 アンケート結果

1. アンケート概要

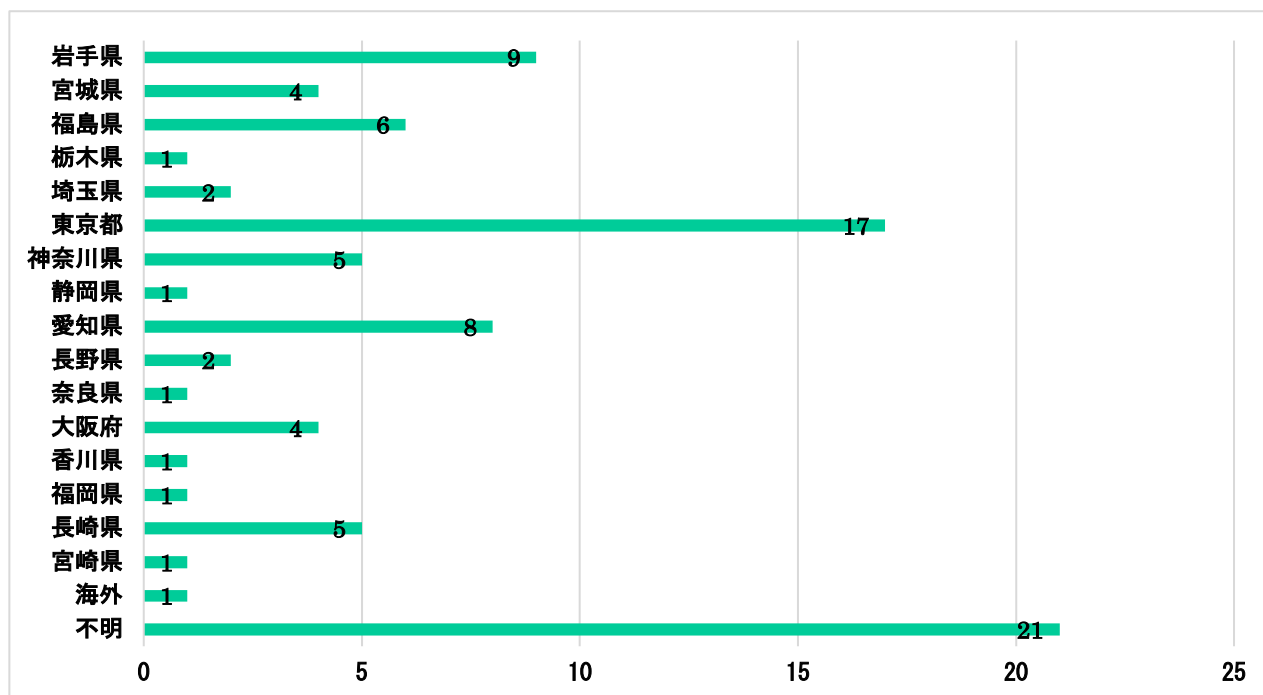
任意記名式、google フォーム、全 7 問（選択式 2、選択+記述式 2、自由記述 3）

2020 年 11 月 28 日ツアー交流会終了後に参加者に依頼し実施

申込者数：90 名 アンケート回答者数：34 名

2. 申込者の情報（アンケート設問外、事前申込みベース）

1 地域割合



2 参加動機

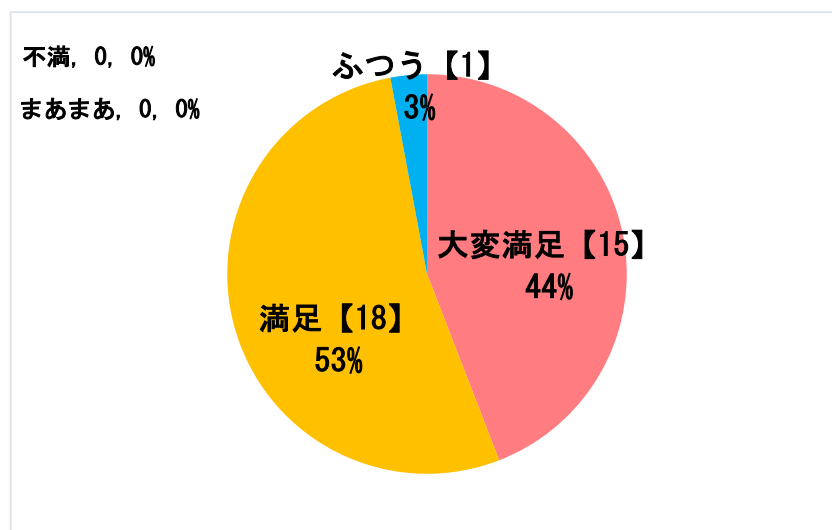
1. 原発の被害を知りたい。
2. 東日本大震災が始まった頃から、東北でボランティア活動をしております。遠野まごころネットさんに時々お世話になり、岩手の沿岸地域の大槌、釜石、宮古などで、掃除、泥のかきだし、サンタなどのボランティアをしました。また、宮城県の南三陸でワカメの養殖の手伝い、石巻で復興支援の花壇整理や掃除などもしました。もともとは岩手の出身です。数年に一度くらいであまり活発に活動をしていませんが、被災地のことを知りたいです。
3. 岩手の現状を知るため。バーチャルツアーということで、コロナ禍において新たな手法を学ぶため。
4. JCN バーチャルツアーというものを体験したいため。いつも貴重な勉強会をありがとうございます。
5. ずっと支え続けあって生きている人たちの生の声を聴きたい。
6. なかなか足を運ぶ事が出来ないのです。
7. 3.11 以降何度かボランティアに行ったので、その後が気になるから。
8. なかなか現地を訪問することができないため、オンラインで現地の様子を拝見し、お話を聞ける機会は貴重だと思い参加申込させていただきました。
9. 大船渡市で復興支援員をしており、活躍されている皆さんのお話を聞いて、今後の支援活動の参考にしていきたい。
10. 震災直後に何もできなかった分、中期的、長期的に、忘れず、未永くできることをやっていきたいという思いをいただいています。ゼロベースに立ち返って、震災や復興を考え続けるキッカケにしたい意向です。

11. 東日本大震災後の復興を知りたい。
12. 現状を学びたいと思っています。
13. 長年の友達からの紹介、現地を震災後訪れたことがあるため、今でも関心がある。
14. 家族が参加しているから。
15. 当組合における復興支援活動の今後を考える上で、バーチャルツアーの有効性も含めて個人的に参加してみたいと思いました。
16. 毎年、自生協を通じた支援や応援の活動に取り組んできたこともあり、この10年近くの変遷を改めて振り返りたいと思いました。
17. JCNのMLと「3.11の今がわかる会議」にて頂いたご案内を見て。
18. 富田さんからのご紹介で。本来であれば、今年・来年と岩手・宮城・福島への訪問をと考えておりましたが、コロナ禍の為、見通しがつかず、バーチャルツアーに参加しようと思いました。
19. 知人の紹介。
20. 岩手に興味があるため。
21. 3.11時、岩手に災害Vとして活動経験あり。現在に至るまでと現在の状況を知りたい。
22. 福島県復興支援員として支援活動をしているため。
23. 所属団体にて学生向けに東北被災地スタディーツアー等を企画・運営してきましたが、新型コロナウイルスの影響で今年は中止しています。代わりに、当団体でも主に学生を対象とし、オンライン企画を重ねてきました。これまではオンラインを制約の多いツールと見てきましたし、今でもそれは感じますが、一方、現地で集うことはできなくても知ることはできるし、心を寄せることはできるとこの間感じてきました。今回は、(1)自分が今の東北を知り学ぶため(特に岩手にはあまり足を運べていません)、(2)学生と何をつなげていくかについて考えを深めるため、また(3)オンラインで東北とつなぐという方法についても参考にさせていただきたく参加を希望いたします。貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。
24. 岩手に関わりたいから。
25. 震災発災後の、7月、9月に陸前高田、大船渡に災害ボランティアのバスツアーに参加しました。その後、どうなっているのかリアルで見たい、知りたいと思い参加を決めました。
26. 三陸鉄道
27. この間開催された今がわかる会で聞いた話を、話だけでなく現在の状況をもっと深く知った上で、自分これから何をすべきか、何ができるかを考えたいと思ったため。
28. 現在どうなっているのか知りたいため。
29. 東日本大震災の被災地の人とつながりがあるため。
30. コロナ禍で東北の今を見に行くことが難しいため。
31. JCN ツアーに出演したから。参加者の皆さんとの関りをみつきたいから。
32. 今年度は、コロナ禍による状況の変化などを知りたいのと、今後の地域との関わり方のヒントになればと考えております。
33. もうすぐ震災から10年になります。岩手県の「今」を、知りたいとおもいます。
34. 震災後の現状とこれまでの取り組みを知りたい。
35. コロナ禍で全然行くことができていないので、今の状況などを知りたいので。
36. 岩手県のさまざまな地域で多様な活動をされている方のお話をお聞きしたかったため。
37. 岩手県の復興について関心があるため。
38. 昨年度は福島ツアーに参加させていただき、大変勉強になりました。震災から10年目を迎える岩手の現状、これまでのことなど改めて知りたいと思い、申し込みました。
39. 震災から節目の10年を前に、現地の状況や現地の方の生の声を聞きたいから。
40. 岩手の現状を見たい。
41. 被災地の今を知りたいです。
42. 先日、ようやく岩手県沿岸部に行くことができました。そして福島県沿岸部との違いを少し実感しました。同時に、普通の旅行ではあの時の話を聞くことの難しさも知り、参加申し込みいたします。
43. ・「地域で支え合う社会をどのようにつくっていくのか」という問いへのヒントを得たい。
・「バーチャルツアー」という手法を学びたい。
44. 岩手県は本籍地で親戚も多く津波により亡くなった方もいます。2人の子供もたちは小学校、中学校を卒業しています。自分たち家族が被災した意識をずっと持ち、震災後訪れた釜石の惨状に涙しました。その後

の状況を知りたく参加希望いたします。

45. 震災以来福島県内関係団体とはかわりを持っているが、被災地のことを決して忘れないため、また復興にどうかかわれるかを考え続けられるため。さらに、自分たちが今後の災害にどう向き合えるかを考えるヒントを受け取りたいため。
46. 見たことがないので
47. 10年目を迎えるにあたって、今後どう関われるのか？どう関わるのかを考えたかった。
48. 興味が有るので。
49. 災害支援で何度か入ったことがあるので、その後の現状を観たい。
50. 福島市にて被災し、ライフラインの復旧を待ちながらご近所同士暖をとったことや、情報が届かないことへの恐れ、原子力災害に自分に対応しきれない無力感、母子での自主避難でみた厳しい現実など、何年経過しても今までとこれからをいつも心に置いて暮らしています。仕事を持ち、経済力をつけてこれからの放射線にまつわることに取り組むことになるだろう、と、仕事を探し、今の法人にたどり着いて6年目になろうとしています。震災後のいまを地に足をつけて考え、意見交換したり各地の今を知っていきたく思い、申し込みました。
51. 東北復興支援施策の参考にしたいため。
52. 東日本大震災発災後から10年、被災地に調査研究、支援で通っています。2020年にはコロナ禍により訪問を差し控えているため最新の被災地の状況を本プログラムで伺い、今後の支援、調査研究について考えるきっかけとしたいため。
53. 友人が出ていたので！

3. 参加の感想



理由 ※原文まま

《大変満足》

- 1) 今の状況を様々な方々の話からわかりやすく伺う事ができました。
- 2) このような世の中の状況でなかなか旅行にはいけません。岩手に旅行した気持ちになれました。興味深い催し（こたつ列車等）もあり、とても旅行に行きたくなりました。コロナ禍が開けたら必ず東北に行きたいと思いました。
- 3) この間の10年のみなさんの活動をお聞きし、また復興の様子を知ることができて本当に勇気をいただきました。震災後訪れていましたので、いつもその後のご様子が気になっておりました。
- 4) 岩手に来ていただきたいという思いを、強く感じられるプログラムでした。ありがとうございます。
- 5) 映像もライブ中継も終始明るい雰囲気が進められ、観やすかった。だからこそ刺さってくる部分が際立ったように思う。
- 6) 登壇いただいたみなさんの活動の場を拝見させていただきました。実際に現地を訪れて、皆さんに直接お会いしたいと思いました。

- 7) 文書や写真よりリアルに実感できたので
- 8) 各地の取り組みを知ることができ、当時の状況からこれまでの状況を学ぶことができました。移動しながらの進行もおもしろかったです。
- 9) 思いある方のお話はとても共感しました。単にお話を聞くのも勉強になるのですが、現地の映像を見ながらお話が聞けたのはコロナ禍だけども現地を体感することが出来ました。オンラインの可能性も感じました。
- 10) 本当に旅行しているみたいだったし（特に波の音）、震災後の思いが伝わってきたから。
- 11) 足を運ばなくても、沢山の方のお話を聞けたことがとてもよかった。
- 12) Web 開催と制限がある中、岩手県南の魅力を伝えることに成功している。
- 13) 岩手を旅したような気になり、実際に行ってみたくて思いました。今回、リモート開催だからこそ、気軽に参加できたので、とてもいい機会でした。
- 14) 現状、東京から訪問を控えざるを得ない岩手県の「今」の姿を拝見することが出来たから。
- 15) それぞれの立場で、現在の岩手の元気さを発信されていたこと。さらには県内でもこのツアーをとおして、新たな協働が生まれそうになっていることも良かったので。

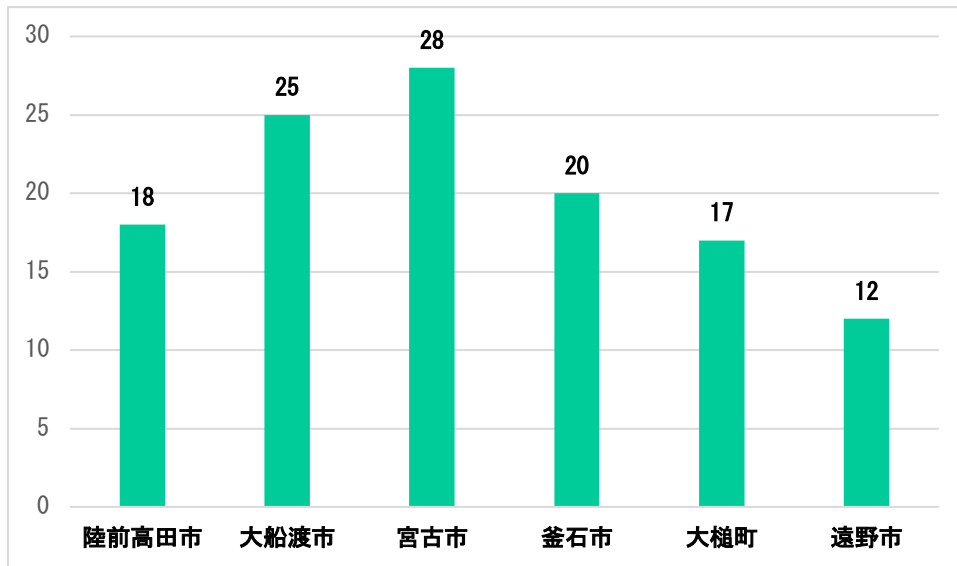
《満足》

- 16) なかなか行けないので今の岩手県の様子を知ることができました。行ってみたいです。
- 17) 岩手で頑張っている方々の生のお声を聴くことができ、よかったです。
- 18) 久しぶりに岩手の方々の頑張りに触れることができたから
- 19) なかなか行けませんが、岩手の風景とみなさんのご活躍の様子が見れてよかったです
- 20) 岩手に行きたくなれたので
- 21) こちらの通信環境問題かもしれませんが、途中画質が粗かったこと時々通信が途切れたことが残念でした。
- 22) 地域の魅力やひとの魅力が伝わってきたから
- 23) 当事者の方にお会いできないことが多かったので、話をきくことが出来た気持ちになったから
- 24) 事前収録の映像も良かったし、会場や参加者とのやり取りも面白かったが、映像の解像度がやや悪くてテロップ等が見えづらく、せつかくのものがもったいなかった。
- 25) 現状がわかったので。
- 26) なんといっても復興へ向けた地道な努力を自然体で継続されている方々の生のお話を伺えたことと、風光明媚に違いない景色を垣間見ることができたら。
- 27) 今がわかる会議とセットで参加できたらもっとよかったのかもしれないなと感じました。
- 28) 復興の様子が分かりよかった。

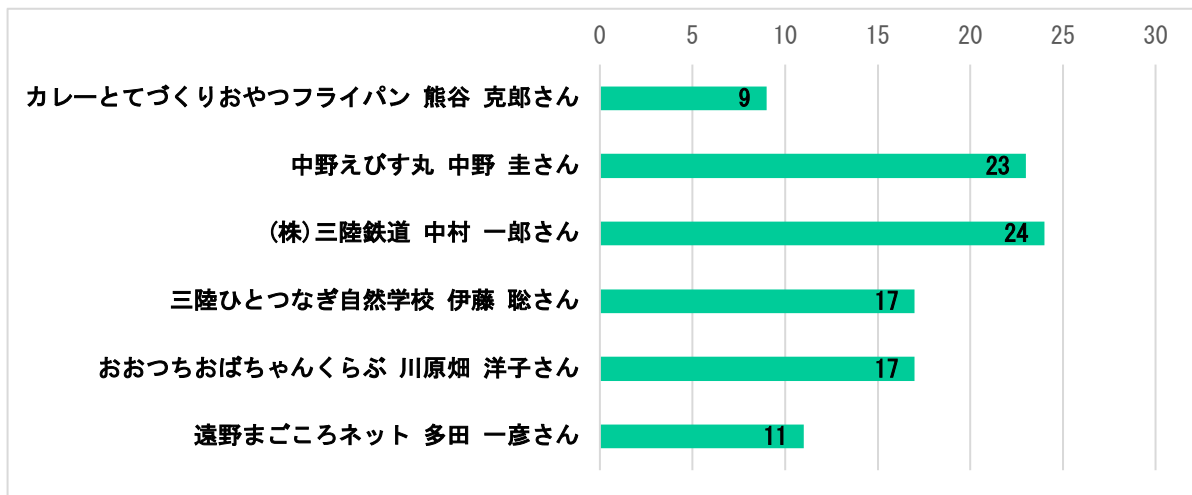
《ふつう》

- 29) 画面の文字が不明確な部分が残念だった

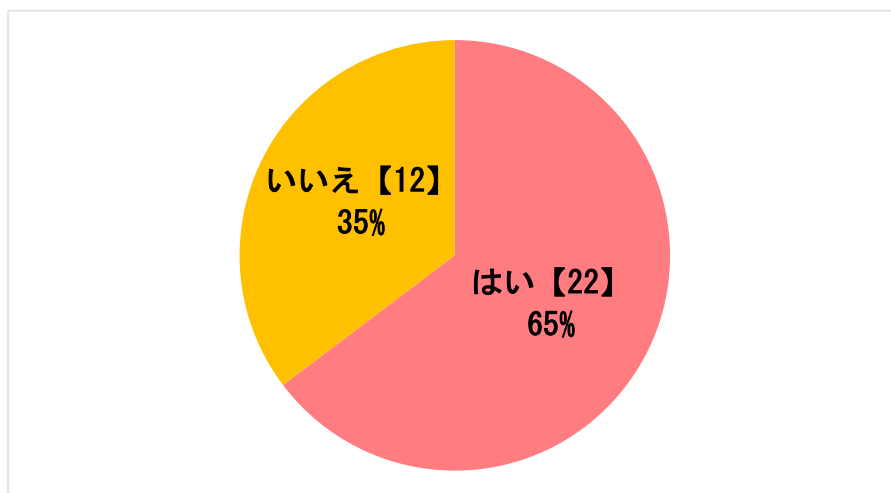
4. 訪れたいと思った地域はありましたか？（複数回答可）



5. 訪ねてみたいと思った方はいましたか？（複数回答可）



6. 出演者からの「関わり方の提案」の中で関われそうなことがありましたか？



「はい」と答えた方は具体例を、「いいえ」と答えた方はその理由をお答えください。

「はい」

- A) 居場所づくり。
- B) 数年間にまた参ります、とりあえず。
- C) 関われそうなことはありました。fb等のSNSを使ってまずは関わっていきなるといいなと思いました。
- D) まずは、ネット注文させていただける品物があれば購入したいと思います。そして、いつの日にか訪れたいです。その時、お話しさせていただきたいなあ～と思っています。今日のツアーの様子、岩手の各地域の今を身近な人たちに伝えていきたいと思っています。それが、自分が今直ぐにできることかと思っています。
- E) 中村さんのおっしゃられていた、沿岸エリア同士の繋がりの希薄なところ、私も同感です。
- F) 実際に現地に訪れたり、みなさんの活動をシェアできたらいいなと思います。
- G) まずは家族で訪れてみたいです。
- H) SNSを通して
- I) 現地に行く！体験する！体感する！
- J) 三陸鉄道の乗車
- K) FBによるつながりや、三陸鉄道に乗ること
- L) 岩手を訪れたことはありますが、今回登壇いただいた「人」に会いに行ってもっと想いを聞く、それを自分の地域でも伝えていきたいと思いました。
- M) 商品の購入や紹介、思いを伝える
- N) 三陸鉄道に乗ってお酒を呑んでホタテを食べたい！
- O) 三陸鉄道に乗りに行きます。
- P) 可能なことは始めたい
- Q) コロナが落ち着いたら東北に行く
- R) 三陸鉄道のファンです。
- S) 三陸鉄道を応援し、眺める景色、繋がる気持ちを大切にしたい。
- T) 配信中のチャットもその一つだと思いました。Zoomの中で紹介される食べ物や飲み物など事前に手元に届けて頂き、食べたり飲んだりしながら、お話が聞けたら、現地に行った気になれそうです。
- U) 何か生協とのつながりづくりをお手伝いできればと思います。
- V) 現地を訪れ実感すること。震災当時と復興への道筋を自分のこととして記憶しつづけること。東京で減災タイムラインなどに生かせるよう所属団体で考えていく。

「いいえ」

- W) ヌード鮭、学校の子どもたちと挑戦したいです。
- X) 現職の再生可能エネルギー普及で関係できそうな事例がなかったから。
- Y) 作るだけの人、消費するだけの人にならないようにしたいとは、思いました。
- Z) 私のほうの規模が小さい
- AA) ちょっと難しいです
- BB) まずは訪れて知ることから始めたいから
- CC) すみません、聞き逃しました。
- DD) すみません、別のzoomとかけ持ちで、その部分がしっかり聞いてなかったの。
- EE) FacebookやTwitterをやっていないから関わり方が分からない。
- FF) 学生なのでなかなか難しい。違う形で、もしくはもう少し大人になってから関わったら…と思います。すみません
- GG) 現地へは物理的に遠いため

HH) 安易に「はい」と回答するのが難しく、「いいえ」と回答させていただきます。「期待する関わり方」をお互いがなすというのは、非常に難しいと感じています。

7. このツアーで印象に残ったこと、岩手への思いなどご自由に記載ください。

- 1) 岩手県は昨年度大槌町や陸前高田市を訪れました。もっと海沿いを見てみたいです。
- 2) 震災支援終了後、岩手には一度も行っていない。是非訪れてみたいと感じさせてもらった。
- 3) 三陸鉄道が走っているのが何より♡
- 4) 鉄道旅をしたくなった
- 5) 忘れないようにしています
- 6) いろんなつらい体験をされたと思いますが、そこから立ち上がって前を向いて歩んでいるパワーがすごいと感じました。この10年何もできずに後ろめたさのようなものを感じているのですが、その時その時でいろんな関わり方があると思うので、まずは皆さんが愛している地域を訪れたいと思います！
- 7) もう10年という気持ちが正直今の私には大きいです。自分が小学生のときに地震が起きてニュースで見た映像は当時すごく胸に来るものがありました。先日開かれた東北の今がわかる会にも参加し、今回のツアーにも参加することで今自分にも東北のためにできることはあるんだなと思えました。今まではなかなか行動に移せていませんでしたが、これからは東北の方々と繋がりを持って関わっていき、私が徳島にいなながら出来ることをやっていけたらと思っています。今回のツアーに参加することでより一層、考えることができとても良かったです。拙い文ですが私の思いが少しでも伝わって頂けると幸いです。
- 8) 岩手県の生き活きと輝く“今”を、そこでご活躍されているみなさんの頑張りを周りのひとに伝えていきたいと思っています。そして、岩手のみなさんとつながっていけますように。自宅にいなながら、久しぶりに良い旅を、大変有意義な旅をさせていただきました。有難うございました。
- 9) 岩手専門の旅行イベント会社は、十分に利益を出せると思いました。
- 10) 恵まれた漁場と絶景、プラタモリ流の地質など見所満載！地球温暖化が進行する中、きっとこれから東北は人気エリアです！！
- 11) 被災した人たちをとにかく救おうという支援から目的をもった支援への変化とそれに伴う被災者の苦しい気持ちや、このバーチャルツアーを見ながら涙したという声などが印象的だった。早く岩手に行ってみてみたいと思いました。
- 12) 震災という大きな悲しい災害がきっかけだったかもしれないけど、地域の未来を語ってくれる人、地域の未来を育ててくれる人が熱い想いを持って活動していることに感動しました。そして一人でも多くの方が応援してくれたり、岩手や東北に関心を持って訪れてくれたらいいなと思います。
- 13) 当時の惨状が思いおこされました。地域のなかで継続的に頑張ってきた方々の話には元気をもらいました。落ち着いたらまた是非、ゆっくり訪ねてみたいです。
- 14) 岩手にいなながらも、知らない岩手がまだまだありました。土地に惹かれ、コンテンツに惹かれ、人に惹かれ…。新たなつながりをまだまだ作りたいし、もっと深く繋がりたいと思いました。あつという間の2時間、楽しかったです。有難うございました！お疲れ様でした～！
- 15) これまでの形式による現地ツアーには、仕事の関係もあって、なかなか参加できなかったが、今回はオンラインツアーなので参加できた。現地に行かねば分からないこともあるが、当日の参加者数や属性の広がりを見ると、やはりオンライン開催は有効だと思った。来年度もぜひオンラインでお願いしたい。自分としては、10年目を超えても、この先の人生死ぬまで、ずっと何らか関わっていきたくて思っている。一緒に歩みを進めていきましょう！
- 16) コロナ禍で先が見えない状況の中、被災された皆さんが未来に向け希望の灯を掲げているのに接し、頑張らないと、と思わされました。コロナが落ち着いたらぜひ三陸鉄道に乗って皆さんの所を訪れたいと思います。
- 17) 復興への姿勢には心打たれました。応援しています！
- 18) これまでも有史以来数え切れないくらいの災害に見舞われた土地ですので、必ずやまた新しい価値創造とともに人々が悲しみを乗り越えてまた強くなれるものと期待しています。本当にまだまだ知られていない魅力に溢れていると思いますので、地元愛をさらに広め、深めていながらコミュニティを強く、そし

て、日本全国にその魅力の一端を味わってもらえる仕掛けや工夫をこれからも続けていってほしいと思います。老若男女が壁を一切取り払って楽しくみんなで盛り上げていってください！

- 19) コロナ禍で現地でのボランティア活動ができない中、何か出来ることはないかと考えていたときにこのツアーを知りました。離れていても、こんなにリアルな被災地を感じる事が出来たのはリモートならではだと思います。悪いことばかりではないとはじめて感じました。出演して下さった方々はもちろん、素敵な動画を編集して下さった関係者の皆さんに感謝です!!ありがとうございました
- 20) 女性スタッフは今回も元気だった
- 21) 三陸鉄道に乗って、ぜひ直接お話を聞きに行きたいと思いました。
- 22) 力強く復興されていると思いました。でも、多田さんが、経験がいかされてないと仰っていたことがとても印象的で、今回のような取り組みが大事なだと気づかされました。岩手にはまだ行ったことがありませんが、近くに感じる事ができました。
- 23) 被災された方は大変な事でしたでしょう。可能な範囲で訪れていきたいと思っています。大変な思いをされた方に頑張ったとは簡単に言えませんが、それでも根気強く努力された賜物と感じます。
- 24) 新型コロナウイルスの脅威が取り払われたら、必ず岩手県を訪問しようという想いが強くなりました。本ツアー開催の為、尽力された皆様に、心よりお礼申し上げます。
- 25) 想いをつないでいく、ということばが印象的でした。
- 26) 11月3連休に訪れましたが、このご時世にて旅することに後ろめたさを抱いてしまいました。
- 27) そこで踏ん張り、頑張っている人を知ること含め、自分一人で楽しむたくない。家族含め多くの人に目の当たりにして、知り、楽しんで欲しい。
- 28) 地元の方の頑張りが見てとれました。今はコロナの影響で、現地に行く事は難しいですが、動画や地元の方のお話を聞くことが出来て、貴重な時間でした。
- 29) やり取りの中で中野さんがその場でぜひフェイスブックを皮切りにつながりたいと言っただき、すぐに参加者とつながっていたのが印象的でした。はやく気兼ねなく岩手に伺えるようになると良いなと思っています。
- 30) 震災翌年と2019年に訪れた釜石を思い起こしながらお話を伺いました。来年は三陸鉄道の旅を楽しみたいです。

以上